えがお

令和３年１２月２４日発行
第９号

都立城東特別支援学校長
佐藤　亜紀子

２学期を終えて

副校長　　松井　栄人

本日、令和３年度２学期を無事に終えることができました。感染症の状況は落ち着いてきてはいますが、新たな変異株による感染の報道等もあり、まだまだ予断は許されない状況です。終業式は昨年度同様に感染症対策として、３学年ずつ３回に分けて短時間での実施としました。久しぶりにお互いの顔を見ながら今学期を振り返る機会をもつことができ、児童・生徒にとって、大変に有意義な時間であったと思います。

今学期の学校行事については、感染症対策を講じた上で実施内容にも十分な配慮を行いながら少しずつ再開しました。今後の児童・生徒たちの学校生活、将来の生活に向けた育成のためにも、さらに工夫を重ね教育活動を進めて参ります。御家庭におかれましては、これから始まる冬休みの生活を始め、日々の生活において十分な感染症対策（手洗い、うがい、換気、マスクの着用など）をし、健康に留意してお過ごしください。冬休み中には、通知表を見ながら普段の学習の成果をお子様と振り返り、お子様を褒め、勇気づけてほしいと思います。御家族全員が「えがお」で新年を迎えられることを心から願っています。

さて、保護者の皆様におかれましては御多用にも関わらず、「学校評価アンケート」への御協力ありがとうございました。学校運営連絡協議会の委員の皆様や地域関係者の皆様からいただきました御意見とともに、御意見・御感想をまとめ、今後の教育活動の改善に向けた検討を進めて参ります。

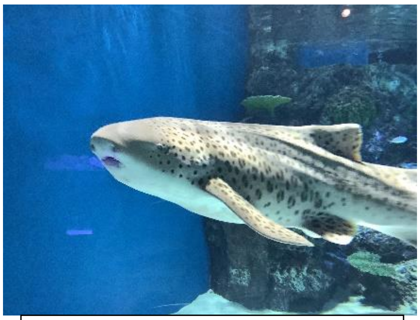
これからも保護者の皆様の本校への御理解、御協力に感謝するとともに、児童・生徒の確かな成長を確認しながら、さらにより良い教育活動を展開できるようにするために全校教職員が一丸となって努力を重ねて参りたいと思います。

児童・生徒の皆さん、保護者の皆様、よいお年をお迎えください。

中学部３年修学旅行

修学旅行担当　岡田　朋哲

11 月 30 日（火）に中学部３年修学旅行を実施しました。マクセルアクアパーク品川にて水の生き物の観察とドルフィンパフォーマンスの鑑賞をしました。新型コロナウイルス感染予防の観点から、都内施設の日帰りでの見学となりましたが、中学部３年の生徒たちは、マスクの着用や消毒などのルールを守り、学年全員で楽しむことができました。



トラザメ（生徒撮影）

本校初の取り組みとして、校外学習で GIGA 端末を使って生徒が写真撮影をしました。事前学習での練習の成果を生かし、動く魚をタブレットの画面に捉え、上手に写真を撮ることができました。また、写真を撮る活動を設けることで、様々な生き物の色や大きさ、泳ぐ速さなどに気付くことができました。事後学習では自分や友達の撮った写真に愛着をもち、お気に入りの写真を使ったコラージュづくりに積極的に取り組むことができました。

GIGA 端末を活用しながら友達と共に学ぶ姿からは、中学部３年間の大きな成長を感じられました。

令和3年度　1月 行 事 予 定 表

日	曜	行事	日	曜	行事
1	土	元日	17	月	身体測定（小低）
2	日		18	火	身体測定（小高）
3	月		19	水	避難訓練 防災教育推進委員会
4	火		20	木	
5	水		21	金	発達相談⑤
6	木		22	土	
7	金	冬季休業日終	23	日	
8	土		24	月	授業参観期間･作品展示始
9	日		25	火	
10	月	成人の日	26	水	
11	火	始業式　全校13:55下校 安全指導日　給食始	27	木	
12	水		28	金	授業参観期間･作品展示終
13	木	身体測定（中）	29	土	
14	金		30	日	
15	土		31	月	
16	日				

「第６回　東京都特別支援学校アートプロジェクト展　未来へ　心ゆさぶる色・形」が以下の日時・場所で開催されます。

●日時
令和４年１月５日（水曜日）から
１月16日（日曜日）まで
開館時間：午前10時00分から
　　　　　午後５時00分まで
※会期中の金曜日・土曜日は、午後８時00分まで
●場所
東京藝術大学大学美術館 陳列館１階

※入選した本校児童・生徒の作品も展示されております。ぜひ、ご覧ください。

※３学期始業式は１月11日（火）です。当日は全校13時55分下校です。

人権尊重の視点に立って　～いじめ・不登校・体罰・学習の保障～

生活指導主任　主幹教諭 景山 陽子

12月は人権週間、世界人権デー、障害者週間、そして東京都では先月１１月を「ふれあい(いじめ防止強化)月間」として、各校でいじめ、自殺、不登校、暴力行為等の問題行動の早期発見・早期対応、未然防止の総点検を行ってきました。 人権とは「すべての人が生まれながらにもち、人らしく幸せに生きる権利」です。「健康で安全な生活がしたい」「自分の思いをはっきりと伝えたい」「自分の個性や能力を発揮したい」「目標や夢に向かって進みたい」とだれもが願っています。子供たちにも「自分の大切さとともに、周りの人もまた大切さであること」を伝え、学習指導、生活指導、学級づくりを含む教育活動の全体を通じ人権尊重の視点に立った学校づくりを協力して進めています。

子供たちに行ったアンケートには、『学校の先生に続けてほしいことがありますか？』という項目があり「大好きな音楽の授業を続けて欲しい」「勉強を教えて欲しい」「一緒に遊んで欲しい」など多くの回答がありました。また、『コロナウイルスのことで困ったことはありますか？』という質問でも「マスクがたいへんだ」「感染が心配だ」等考えていることを記入してくれました。今後も心配なこと困っていることをいつでも相談でき、すぐに気付けるように努めていきます。